

1 単元名 近世の日本 世界の動きと統一事業

2 本単元の目標

- (1) ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べてまとめ、近世社会の基礎がつくられたことを理解する。
- (2) 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。
- (3) 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べてまとめ、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。</p>	<p>・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、歴史的分野(3)近世の日本(ア)世界の動きと統一事業に基づいて設定した。本単元は、ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解するとともに、近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することをねらいにしている。

(2) 生徒観

本学級の生徒に対し、実態調査(令和4年*月*日実施、第2学年*組*人)を行った。「戦乱の世が終わりをむかえ、安定した世の中になった要因は何か」という質問には、南蛮人の来航について記述した生徒が*人、鉄砲の伝来について記述した生徒が*人、キリスト教の伝来について記述した生徒が*人、織田信長の統一事業について記述した生徒が*人、豊臣秀吉の全国統治について記述した生徒が*人、無回答が*人だった。豊臣秀吉の全国統治について記述した生徒が最も多かったが、その理由は「年表に全国統一と書いてあるから」など表面的な結果を捉えるだけで、諸政策の目的や社会の仕組みの変化等への深い考察には至っていない生徒がほとんどであった。これらのことから、本学級の生徒は、事象を相互に関連付けるなどして、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することに課題があることがわかった。

(3) 指導観

本単元では、事象を相互に関連付け、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する力を育むため、社会の変化の要因を予想し、その影響を評価して、振り返りを繰り返す学習活動を行う。まず、導入において大まかな歴史の流れを捉え、近世は社会が安定していった時代であることを確認し、「ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世は終わりをむかえたのだろうか」という学習課題を設定する。次に、単元の学習の見通しと振り返りを行う個人のワークシートに、「戦乱の世を終わらせた影響度」について授業ごとに記述し、数値化した根拠を他者と意見交換していく。最後に歴

史の流れをさかのぼり、社会的事象を時系列に並び替えて、再度影響について考察することで、多面的・多角的な思考力、判断力、表現力等を養っていききたい。

5 単元の指導計画（9時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1	<p>課題 近世では、どのようにして社会が安定したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社会を安定させた人物の功績について、意見を交流する。 • 疑問に思ったことから、単元を貫く学習課題を設定する。 <p>単元の学習課題 ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 戦乱の世を終わりに向かわせた影響度の高い人物、出来事を選び、予想を書く。 				○ 態：近世ではどのようにして社会が安定していったかという探究課題に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしているか見取る。単元の学習課題について見通しがもてない生徒には、小学校で学習した人物を歴史的事象の資料や年表などから見つけ出したり、友人との意見交換から選んだりするよう助言する。【観察】
2	2	<p>課題 中世のヨーロッパとイスラム世界は、どのような社会だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中世ヨーロッパ、イスラム世界、十字軍のキーワードを調べ、Yチャートで関連付けてまとめる。 <p>まとめ 古代ローマの分裂によって、キリスト教会が分裂した。ムスリム商人によって、交易が広がった。十字軍によって、イスラム文化がヨーロッパに伝わった。</p>	○			知：中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立について、両者の関係を理解しているか見取り、理解が不十分な生徒には資料を読み取る視点を助言する。【ノート、行動観察】
	3	<p>課題 イスラム世界と接したヨーロッパ社会は、どのように変化したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ルネサンスと宗教改革、それぞれが起きた経緯や影響をまとめる。 <p>まとめ ルネサンスと宗教改革が起こった。さらに大航海時代が始まり、近世と呼ばれる時代に入った。</p>	○			知：ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解しているか見取り、理解が不十分な生徒には、現代にも残されている文化財に着目するよう促す。【ワークシート、行動観察】
	4	<p>課題 なぜヨーロッパ人はアジアを目指したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から、ヨーロッパ人の世界進出の影響を調べる。 <p>まとめ キリスト教を広め、香辛料などの富を手に入れるため。</p>		○		思：ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し表現できているかを見取り、不十分な生徒には、ヨーロッパ人の進出した地域を示す地図と宗教分布図を比較するように促す。【ワークシート、行動観察】

5	<p>課題 ヨーロッパ人との出会いによって、日本の社会はどのように変化したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取り、ヨーロッパ人が日本にもたらしたものの、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を調べる。 <p>まとめ 鉄砲やキリスト教が伝来し、広まった。南蛮貿易が行われ、キリシタン大名になる者も現われた。</p>	◎		<p>知：ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が日本に広まっていく様子を理解している。</p> <p>【ワークシート、行動観察】</p>
3 6 本 時	<p>目標：織田信長の経済政策を通し、商工業が発達した理由を考察し、表現することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 織田信長の統一事業を確認する。 学習課題を確認し、課題に対する予想を考える。 <p>課題 なぜ織田信長は、他の戦国大名よりも鉄砲を大量に手に入れることができたのだろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 調べたことをクラゲチャートに整理する。 <ul style="list-style-type: none"> 南蛮貿易を行った。 堺や国友など、鉄砲の生産地を支配した。 楽市・楽座を行った。 関所を廃止した。 鉄砲を大量に手に入れるために効果があった政策は何か話し合い、まとめる。 グループ→全体 <p>まとめ（結論） 楽市・楽座や関所の廃止などの政策を行うことで、経済を活性化し、鉄砲を大量に手に入れることができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 本時の学習の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 戦乱の世を終わらせた影響度について振り返る。 次の学習の見通しをもつ。 	◎		<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習課題に対する個人の予想から、信長の統一事業の影響度を確認する。 長篠の戦いから織田信長が鉄砲を大量に使用したこと、織田軍は常備兵であったことを示す。 石山合戦の様子から、鉄砲を使っていたのは、織田信長だけではないことに気付かせ、思考を揺さぶる。 鉄砲の国内生産が始まったことや弾や弾薬の原料は輸入するしかなかったことを示す。 予想できない生徒には、ヒントカードをもとに調べるよう促し、資料を読み取る視点を助言する。 1人1台端末を使用し、全体での意見共有を促す。 <p>知：織田信長の政策について理解しているかを見取り、理解が不十分な生徒には資料を読み取る視点を助言する。</p> <p>【ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鉄砲を大量に手に入れるには何が一番必要か」と発問し、織田信長の政策（クラゲチャートの足の部分）を影響度で並び替えるようにする。 1人1台端末を使用し、全体での意見共有を促す。 <p>思：織田信長の統一事業にとって経済の活性化が重要であったことを考察し、表現している。</p> <p>【ノート、行動観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返るとともに、現時点での単元の予想を修正する。
7	<p>課題 豊臣秀吉の政策で、日本の社会はどのように変化したのだろう。</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・太閤検地と刀狩りによって変化した近世の社会の仕組みを、中世と比較して考える。 		○	<p>思：兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察しているかを見取り、考察が不十分な生徒には、中世の学習をまとめたノートを確認するように助言する。</p> <p>【ワークシート、行動観察】</p>
8	<p>課題 安土桃山時代の文化は、どのような特色を持っていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築、絵画、芸能などの代表的な文化を調べ、その特色が生まれた理由や時代背景、文化の担い手について考察する。 		◎	<p>知：生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から桃山文化の特色を理解している。</p> <p>【ワークシート、行動観察】</p>
9	<p>単元の学習課題 ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田と豊臣が目指した社会の仕組みについて振り返る。 ・織田と豊臣による統一事業を引き継ぐ形になった、徳川家康の江戸幕府成立を、小学校での学習から振り返り、次の単元につなげる。 		◎	<p>思：戦乱の世が終わりをむかえた理由について、ヨーロッパ人との出会いとその影響を関連付けて考察して、表現している。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>◎ 態：世界の動きと織田・豊臣による統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>【ワークシート、活動の様子】</p>
	<p>まとめ 太閤検地や刀狩りによって兵農分離が進んだ。(朝鮮侵略によって、朝鮮が荒廃するとともに、豊臣氏が没落する原因にもなった。)</p>			
	<p>まとめ ヨーロッパ文化の影響を受けた南蛮文化、武将や豪商の経済力などを背景にした桃山文化が栄えた。</p>			
	<p>まとめ (振り返り) 鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易が盛んになり、織田・豊臣による統一事業の進展に影響を与えた。織田・豊臣は兵農分離を進めたことで、中世から近世への時代の転換が起き、徳川による江戸幕府の成立へとつながっていった。</p>			